

平成20年度 「福島議定書」 事業 【中学校】

方部	学校名	受賞状況	主な取組内容
県北	福島市立渡利中学校		<ul style="list-style-type: none"> ・昼休みや清掃時、できるだけ電気を消すよう、代議委員や生徒会で呼びかけやポスターを作成した。 ・教室を空けるときは日直を中心に消すよう確認した。 ・歯磨きの時、水を流したままにしないよう、コップの使用を促した。
県北	福島市立茂庭中学校		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が使う教室以外の部屋（先生方だけの場合）はなるべく電気をつけない。使用しない教室のコンセントは必ず抜く。歯磨きはコップ1杯の水で行う。ストーブをつける時、換気をしながら室温を20℃以下に保つ。 ・学校新聞、文化祭を通して、福島議定書について学校の取組を紹介。地域にも呼びかけた。 ・温暖化防止のポスターを作成。ラミネート加工し、来年度は地域に掲示する予定。
県北	福島市立吾妻中学校		<ul style="list-style-type: none"> ・節電、節水に努めている。
県北	川俣町立川俣中学校		<ul style="list-style-type: none"> ・全校集会で生徒会長から全校生に呼びかけた。 ・生徒会で「電気をこまめに消す」「水道の水を出しっぱなしにしない」など注意を促すカードを制作し、各教室や水道場に貼り付け、生徒の意識を高めた。 ・学級委員長や委員会と連携を図り、移動教室時や清掃時の消灯について呼びかけた。 ・教職員に呼びかけ、待機電力の徹底した見直しを行い、コンセントを抜くよう取り組んだ。
県北	川俣町立山木屋中学校		<ul style="list-style-type: none"> ・必要のない電灯を消す、使わないコンセントを抜く、水道を流しっぱなしにしない、などに気をつけて取り組んだ。 ・ごみ分別（資源ごみ回収）、コピー・印刷の節約、裏面利用、牛乳パックリサイクルにも継続して取り組んできた。
県北	国見町立県北中学校		<ul style="list-style-type: none"> ・電灯スイッチの側に「スイッチOFF」の貼り紙をし、こまめにスイッチを切る意識が持てるようにしている。 ・ストーブの無駄焚きによる灯油消費を防ぐため、気温に合わせた点火ができるよう指導に努めている。
県北	二本松市立二本松第一中学校		<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンを使用しないときは休止状態又はシャットダウンをして電気消費を減らす。 ・歯磨きはコップを使う（保健委員でコップ持参を確認、学級委員が声かけ）。 ・お昼時間に放送委員が節電・節水を呼びかける。 ・係の生徒が電気を消す。放課後も同様。 ・家庭にもエコチェックシートを配布し温暖化防止を呼びかける。
県北	二本松市立小浜中学校		<ul style="list-style-type: none"> ・電気をこまめに消す、水を流しっぱなしにしない、明るい時は窓側の電気を消す。 ・生徒会が朝会や放送で連絡。 ・節電・節水のシールをすべてのスイッチ・蛇口に貼る。
県北	本宮市立本宮第一中学校		<ul style="list-style-type: none"> ・教室移動時の消灯・ストーブ消火について各学級の日直・学級委員が呼びかけた。 ・昼休みの消灯を各教室、職員室、事務室で実施した。 ・ごみの減量・リサイクル（用紙の裏面再利用等）
県北	本宮市立本宮第二中学校		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会を中心に福島議定書を作成。 ・各学級委員長に、生徒会役員から福島議定書の趣旨を説明させ、委員長から各クラスに呼びかけた。 ・各クラスに福島議定書を掲示。
県北	大玉村立大玉中学校		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会が中心となり、全校集会や昼の放送など、機会を捉えて福島議定書への取組を促した。 ・生ごみを増やさないよう、給食を残さない呼びかけた。